

安全データシート

改定日: 2021-04-23
初版日: 2010-03-25

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ブラックインク

製品コード : VJ-BIOINK1-BK880

供給者の会社名称, 住所及び電話番号
供給者の会社名称 : 武藤工業株式会社

住所 : 〒393-8585
長野県諏訪郡下諏訪町 3128

担当部門 : 品質保証部

電話番号 : 0266-28-1883

FAX 番号 : 0266-28-7760

推奨用途 : 武藤工業株式会社製インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類
引火性液体 : 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/
眼刺激性 : 区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 3

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 3

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 可燃性液体。
重篤な眼の損傷。
呼吸器への刺激のおそれ。
水生生物に有害。

注意書き : 安全対策:
熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。
禁煙。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けるこ

と。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

保管:

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄:

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
乳酸エチル	97-64-3	69 - 75	2-1371
乳酸系混合溶剤	非開示	2 - 6	-
樹脂	非開示	1 - 5	-
カーボンブラック	1333-86-4	1 - 5	5-5222

4. 応急措置

吸入した場合 : 症状が悪化した場合、直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、医師の手当てを受けること。呼吸が停止している場合は人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類を脱がし、多量の水と石鹼で洗うこと。炎症の兆候がある場合は、医師の診断を受けること。汚染した衣類は良く洗濯してから再使用すること。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で 15 分以上、目を洗浄する。医師の診断を受けること。可能であればコンタクトレンズを外すこと。

飲み込んだ場合 : 無理に吐き出さず、医師を呼び診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状 : 重篤な眼の損傷。
呼吸器への刺激のおそれ。

応急措置をする者の保護に
必要な注意事項 : 特になし

医師に対する特別な注意事項 : なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧

耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤

- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の消火方法 : 可能ならば容器を安全な場所に移す。火災に遭った容器は水で冷ます。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火にあたっては、顔全体を覆った呼吸保護具等の保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 即座に退避し、漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際は必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出したインクが河川等に流出するのを阻止しなければならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 土砂等で漏出を止め、安全な場所に導き、密栓可能な空容器で出来るだけ回収し、または吸収材を使用して漏洩物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : インクパックを分解しないこと。インクパックを強く振らないこと。子供が誤飲しないように、子供を近づけないこと。取り扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を充分に行うこと。取り扱い時は飲食や喫煙をしないこと。保護具を着用し、目や皮膚に付着しないようにすること。取り扱い後は石鹸と水で手洗いを行うこと。
- 保管 : 直射日光を避け、換気良好な冷暗所に保管すること。酸化剤または爆発物と一緒に保管してはならない。多量に貯蔵する場合は、消防法および条例に従い、危険物倉庫に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
カーボンブラック	1333-86-4	OEL-M(吸入性粉じん)	1 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第2種粉塵, 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は、証拠が比較的十分でない物質, すなわち、疫学研究からの証拠が限定的であり、動物実験からの証拠が十分でない。または、疫学研究からの証拠はないが、動物実験からの証拠が十分である。				
		OEL-M(総粉じん)	4 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第2種粉塵, 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は、証拠が比較的十分でない物質, すなわち、疫学研究からの証拠が限定的であり、動物実験からの証拠が十分でない。または、疫学研究からの証拠はないが、動物実験からの証拠が十分である。				
		TWA (吸入濃度)	3 mg/m ³	ACGIH

設備対策 : 作業所には十分な能力の換気装置を設置し、あらゆる火元（炎、電気スパーク）を避ける。

保護具 : 顔面保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護エプロン等を使用し、身体への付着を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 黒色

臭い : 穏やかな溶剤臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性

固体、気体 : 非該当

液体 : 引火性あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : 63 ° C

自然発火点 : データなし

分解温度 : この物質または混合物は自己反応性には分類されない。

pH : 適用しない

動粘性率 : データなし

溶解度

水溶性 : データなし

n-オクタノール／水分配係数 : 非該当

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度

比重 : 1.03 - 1.04

相対ガス密度 : データなし

粒子特性 : 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の保管条件下において安定。

化学的安定性	: 通常の保管条件下において安定。
危険有害反応可能性	: 危険な重合反応は起こらないと考えられる。
避けるべき条件	: 熱や炎、電気スパークを近づけないこと。酸化剤との接触を避けること。
混触危険物質	: 酸化剤と反応を起こす可能性がある。
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入
皮膚接触
摂取
眼に入った場合

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

乳酸エチル:

急性毒性（経口） : LD50（ラット）: > 5,000 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD50（ウサギ）: > 5,000 mg/kg

乳酸系混合溶剤:

急性毒性（経口） : LD50（ラット）: > 2,000 mg/kg

カーボンブラック:

急性毒性（経口） : LD50（ラット）: > 15,400 mg/kg

急性毒性（経皮） : LD50（ウサギ）: > 3,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

皮膚に付着した場合、弱い刺激性がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

重篤な目の損傷。

製品:

眼に入った場合、重篤な眼の損傷を起こす危険性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

アレルギー性皮膚反応を起こす可能性がある。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**カーボンブラック:**

ACGIH/A4, IARC/グループ 2B

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

構成成分により、生殖能や胎児に損害を与える疑いがある。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

長期暴露あるいは反復暴露により肝臓に障害を起こす可能性がある。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

12. 環境影響情報**生態毒性**

環境への影響について、有効なデータはありません。

残留性・分解性

環境への影響について、有効なデータはありません。

生体蓄積性

環境への影響について、有効なデータはありません。

土壤中の移動性

環境への影響について、有効なデータはありません。

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄時に該当する全法規に従って廃棄する。

残余製品、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理を行う。

容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝にそのまま流さない。

廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか委託する。

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
供給された状態の製品には非該当。

国内規制がある場合の規制情報

引火性液体であるので火気厳禁とし、運搬に関しては容器に漏れないことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。引火性液体に関する一般的注意事項の他、消防法の定めるところに従う。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	番号	含有量 (%)
カーボンブラック	130	1 - 5

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令別表第 9)

化学名	番号
カーボンブラック	130

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法

第 4 類, 第 2 石油類, 非水溶性液体, (1000 リットル)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には非該当。

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法**麻薬向精神薬原料**

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報**詳細情報**

引用文献 : 内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検索結果

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
日本産業衛生学会（許容濃度）： 許容濃度
/ OEL-M

以前バージョンから変更された項目は本文書では 2 本線で強調表示されています。

当インクは武藤工業株式会社製インクジェットプリンターに使用されるものです。他の目的で使用しないでください。記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成されております。しかし、弊社やその他子会社は記載内容の正確性や完全性を保証するものではありません。どんな材質の製品でも適しているかの最終判断はご使用者の責任によるものです。どんな材質でもまだ知られていない危険物質を含んでいることがあり、注意を払って使用されるべきです。ある一定の危険物はここに記載されていますが、それらだけが危険であると保証しかねます。